

第52回 四国中学校総合体育大会 (ソフトボール競技) 大会速報

【女子】決勝戦 C球場(かすみの森公園東)



＜城北中 西森が内野ゴロを打ち、川東の送球の間に松本がサヨナラのホームを踏む＞



＜川東中 エース坪野が最後まで粘り強いピッチングを披露する＞

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
川東中(愛媛県)	0	0	0	0	0	0	0	0		0
城北中(愛媛県)	0	0	0	0	0	0	0	1X		1

【バッテリー】 ＜先攻＞(川) ●坪野 三咲 - 山田 柚葵  
 ＜後攻＞(城) ○久保田 菜々香 - 二宮 杏奈

【長打】 ＜本塁打＞  
 ＜三塁打＞  
 ＜二塁打＞

【戦評】

“城北中、緊迫の投手戦を制し、優勝!!”

“川東中、あと一步及ばず、準優勝!”

川東中 坪野、城北中 久保田の両エースの息づまる投手戦となった。両チーム無得点のまま8回からタイブレーカーになった。城北中は、8回裏1死満塁からショートゴロの間に決勝点をあげ、四国を制した。城北中は久保田・二宮の見事な配球と鉄壁の守備が光った。

川東中は、5回裏2死2塁のチャンスを生かせず、3安打で完封負けした。しかし、エース坪野は2年生ながら抜群のコントロールで城北打線を3安打に抑えた。

両チームともバッテリーを中心とした非常にまとまりのあるチームであった。全中での活躍が期待できる。

【勝者インタビュー】

監督談

勝因は、チーム一丸となって守り切ったこと。つなぐバッティングの練習、タイブレークで守り抜く練習が最後に出た。チームとして、試合をするたびに成長している。次も、練習通りの城北のソフトボールを全国に伝えたい。

主将談

全員で明るくプレーをし、無失点に抑えることができた。全国大会では、1戦1戦を大切にし、少しでも長く試合ができるようにがんばりたい。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!